

(06273197) 株式会社かつアンドかつ 様

2024年度版(2023年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2021～2023年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

飲食店

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

- 「特定健診」: 特定健康診査 / 「業態」: 事業所における業態(43分類) / 「全事業所」: 特定健診の対象となる被保険者数10名以上の事業所 / 「所属保険者」: 被保険者数10名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 / 「所属保険者の全事業所平均」: 事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数10名以上)の事業所のみで算出する平均

【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



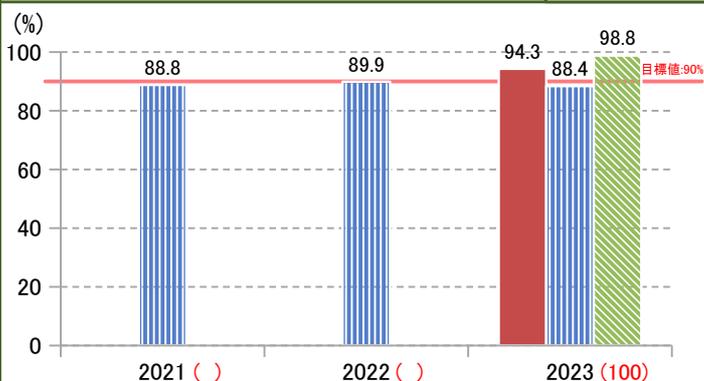
業態別順位

69位 / 450事業所

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと1人



特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

最上位です



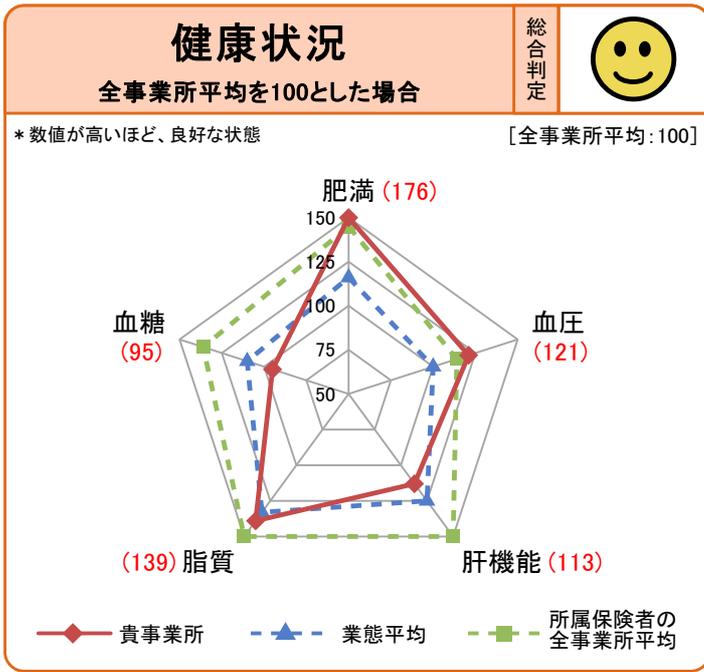
特定健診の実施率	2021	2022	2023
貴事業所			94.3%
			164位 / 467
業態平均	88.8%	89.9%	88.4%
所属保険者			98.8%

特定保健指導の実施率	2021	2022	2023
貴事業所			50.0%
			67位 / 450
業態平均	15.2%	16.2%	16.1%
所属保険者			36.6%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。
 ※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの高い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。
 ※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

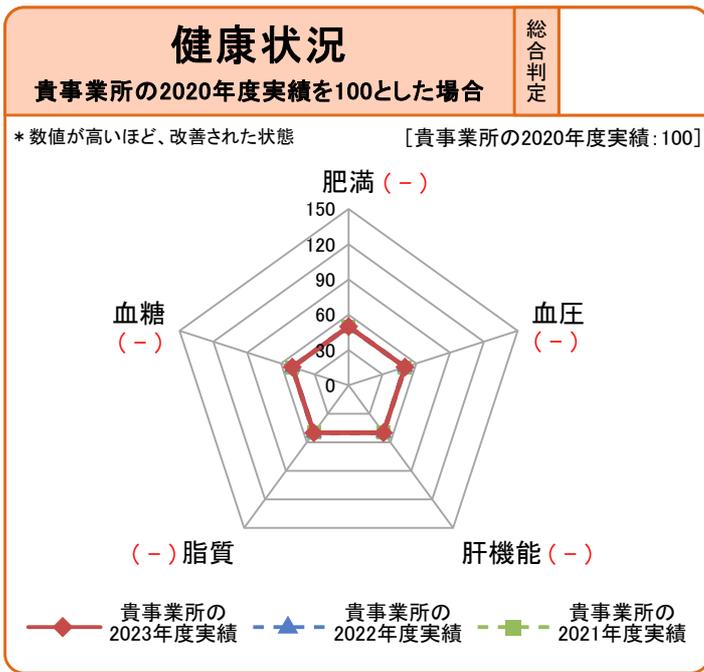
■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者

貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化		2021	2022	2023	
肥満	貴事業所			176	
	業態平均	111	114	116	
血圧	貴事業所			121	
	業態平均	99	100	100	
肝機能	貴事業所			113	
	業態平均	120	124	125	
脂質	貴事業所			139	
	業態平均	126	133	133	
血糖	貴事業所			95	
	業態平均	108	109	110	



健康状況の経年変化		2021	2022	2023
肥満	貴事業所			-
血圧	貴事業所			-
肝機能	貴事業所			-
脂質	貴事業所			-
血糖	貴事業所			-

【コラム】血糖コントロール不良者に積極的アプローチを!

HbA1cの検査結果を分類すると、正常値以外の者が全体の43.7%を占めており、服薬ありの場合でもHbA1cの値が高い者がいます。糖尿病は初期症状がほとんどありませんが、HbA1cが高くなるほど動脈硬化が進み、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞やくも膜下出血になるリスクが高くなります。また、三大合併症として、網膜症、腎症、神経障害があり、失明や透析につながる病気でもあります。健診受診者のHbA1cの検査結果を確認し、服薬の有無にかかわらず、高値の者には積極的に受診勧奨・重症化予防の取組を実施しましょう。

※ 2022年に特定健診を受診した者のうち、HbA1cの検査結果がある者1,232万人を対象に集計

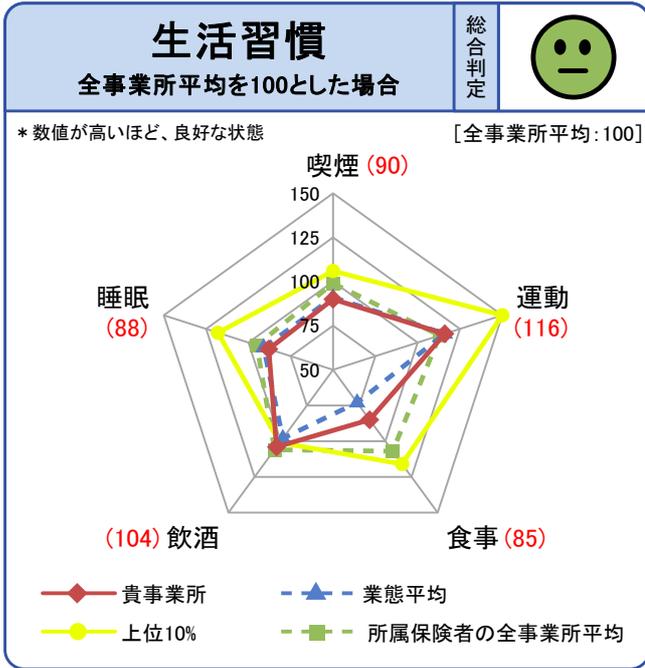
HbA1c検査値の各区分における服薬の有無別構成割合

区分		服薬なし	服薬あり	合計
HbA1cの検査結果がある者		95.1%	4.9%	100%
糖尿病型の者	7.0%以上(※)	1.0%	2.3%	3.3%
	6.5%~6.9%	1.3%	1.2%	2.6%
境界型の者		7.3%	0.9%	8.2%
正常高値の者		29.2%	0.3%	29.5%
正常値の者		56.2%	0.1%	56.3%

※治療中の患者に対しては、合併症予防の観点からHbA1cのコントロール目標は7.0%未満とされている。(「糖尿病診療ガイドライン2024」より)

貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

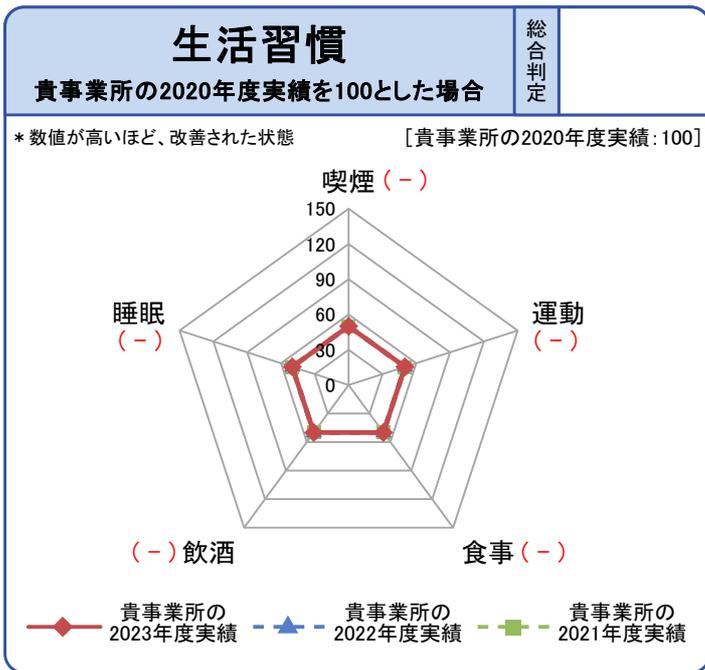
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。



※ 2023年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2021	2022	2023	ランクUPまで (※1)
喫煙	貴事業所			90	 あと1人
	業態平均	90	91	91	
	上位10%	101	104	106	
運動	貴事業所			116	 あと1人
	業態平均	119	116	116	
	上位10%	139	129	151	
食事	貴事業所			85	 あと1人
	業態平均	45	44	73	
	上位10%	80	85	116	
飲酒	貴事業所			104	 あと1人
	業態平均	99	99	98	
	上位10%	100	99	101	
睡眠	貴事業所			88	 あと1人
	業態平均	95	90	91	
	上位10%	105	102	118	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
 (※1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

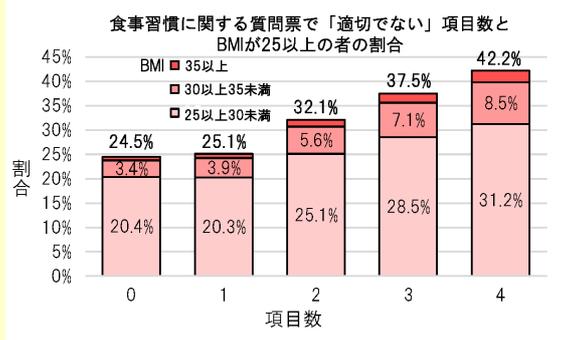


生活習慣の経年変化		2021	2022	2023
喫煙	貴事業所			-
運動	貴事業所			-
食事	貴事業所			-
飲酒	貴事業所			-
睡眠	貴事業所			-

【コラム】肥満を予防・改善するために食事習慣を見直しましょう！

肥満の予防・改善には食事習慣や運動習慣などを見直すことが有効とされています。食事習慣に着目した場合、食事習慣に関する質問票4項目について「適切でない」に該当する項目数別にBMIが25以上である者の割合をみると、項目数が2項目以上に増加するにつれて割合も増加しています。肥満は糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとした数多くの疾患のリスクを高めます。肥満を予防・改善するために、食事習慣を見直すよう働きかけましょう。

※ 2022年度に特定健診を受診した者のうち、食事習慣に関する質問票に回答した者約1,169万人を対象に集計
 ※ 食事習慣に関する質問票4項目のうち、下線部の回答を選択すると「適切でない」に該当する
 ・人と比較して食べる速度が速い：「速い」「普通」「遅い」
 ・就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」
 ・朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか：「毎日」「時々」「ほとんど摂取しない」
 ・朝食を抜くことが週に3回以上ある：「はい」「いいえ」



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

- ・特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳の被保険者。
- ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

貴事業所の医療費状況

1人あたり医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2023年度)

貴事業所

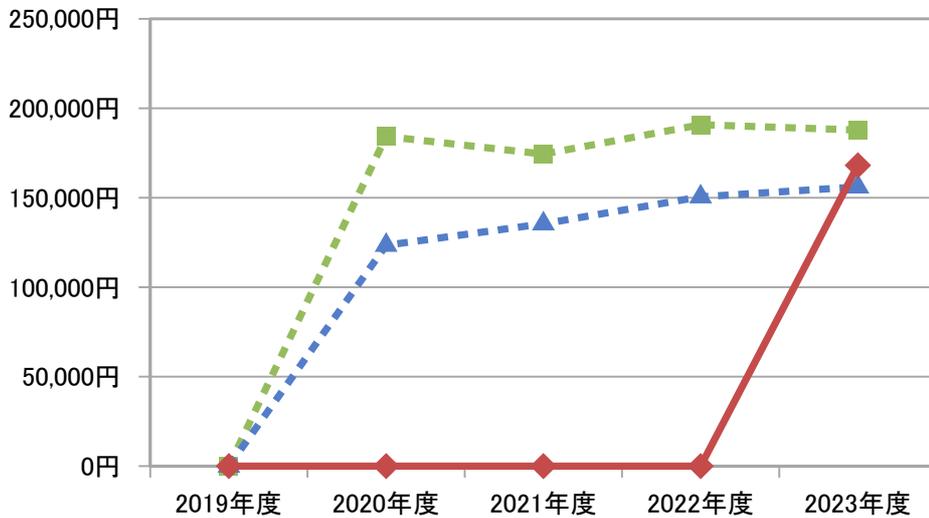
11百万円

◆ 貴事業所

貴事業所の総医療費を貴事業所の加入者数で除した医療費。

-▲- 業態平均

-■- 所属保険者の全事業所平均



1人あたり医療費	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
貴事業所					168,124円
業態平均		123,439円	135,448円	150,527円	156,046円
所属保険者平均		184,257円	174,402円	190,818円	187,865円

※医療費(年間医療費)は70歳未満の被保険者を対象に集計。
 ※1人あたり医療費は、対象となる被保険者数10名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2024年度版

(2023年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省